

# あいさつ運動の好事例

津山市立河辺小学校

(児童数277名 教職員数34名)

## 河辺小 朝のあいさつ運動

### アピールポイント

運営委員会が中心となって、前期・後期2回ずつ、児童入口の階段で元気に笑顔でよいあいさつをめざして取り組みを行っている。

大きな声であいさつができたからカードを配り各クラスで集めて、頑張ったクラスのベスト3を毎回発表している。

見守りの方や、地域の方々に、すすんであいさつができるよう呼びかけている。

### 実際の様子



### 取組の概要

#### ■児童生徒の実態

元気に大きな声であいさつができる児童が多い。しかし、朝の登校時は地域の方々や見守りの方々に対して、あいさつの声が小さかったり、相手から先にあいさつをされたりすることもある。

#### ■活動内容

運営委員会が7月、10月、12月の4～5日間に朝のあいさつ運動の取組を行った。

笑顔でよいあいさつができた児童にあいさつカードを配布し、意識を高めた。あいさつカードは運営委員会のメンバーが、30種類以上のイラストを描き、オリジナルで楽しいカードを作成した。

#### ■取組の参加メンバー

運営委員会の児童が中心となって実施。

#### ■成果・効果

これまで3回の実施でもらったカードを画用紙に貼っていった。全校集会等でベスト3の結果を発表することで、あいさつが良くなり、カードをもらえる児童が少しずつ増えている。特に、低学年のカードをもらえる児童が多い。中・高学年は他の学年の様子に刺激を受けてあいさつを頑張る様子が見られる。

3回目は、児童へ配布したカードを一度全部回収し、『あいさつの木』にすべて貼り、全校で頑張った様子を示すことで児童の関心や意識が高まっている。